



# 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社 ノーリツ

上場取引所 東大

コード番号 5943 URL <http://www.noritz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 國井 総一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 金田 友三郎

TEL 078-391-3361

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

平成24年9月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	89,316	0.5	3,696	△9.6	4,124	△8.9	2,674	13.4
23年12月期第2四半期	88,855	6.1	4,088	11.9	4,529	15.7	2,358	15.0

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 3,272百万円 (44.8%) 23年12月期第2四半期 2,259百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	55.93	—
23年12月期第2四半期	49.31	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	149,081	88,148	59.1
23年12月期	150,837	85,621	56.8

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 88,143百万円 23年12月期 85,616百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	14.00	—	16.00	30.00
24年12月期	—	14.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,000	2.0	9,000	9.9	9,600	10.3	5,400	12.5	112.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	50,797,651 株	23年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	2,976,885 株	23年12月期	2,976,384 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	47,821,096 株	23年12月期2Q	47,833,974 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想に関しましては添付資料のP. 3をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### (当期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興等を背景に緩やかな回復傾向が続いているものの、欧州債務危機による世界経済全体の下振れリスク、長引く円高や電力供給不足による国内景気の減速懸念など、依然として景気の先行きは不透明な状況のまま推移しております。

国内住宅設備業界におきましては、住宅ローン減税やフラット35Sといった住宅取得支援策などが下支えとなって新築住宅着工数は穏やかな回復基調にあります。また、電力供給不足への懸念などにより再生可能エネルギーへの関心も高まっております。

このような状況のもと、当社グループは昨年度スタートさせた中期経営計画「Vプラン16」に基づき、グループビジョンである「新しい幸せを、わかすこと。」を実現するため、環境性と安全性を基軸とした新商品開発、ソリューションビジネスを着実にを行うことで国内、海外での成長を目指しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高が893億16百万円（前年同期比0.5%増）となりました。また、利益面につきましては、営業利益が36億96百万円（同9.6%減）、経常利益が41億24百万円（同8.9%減）、四半期純利益が26億74百万円（同13.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 国内事業

当第2四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が841億40百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益が35億51百万円（同14.3%減）となりました。

温水空調分野では、環境意識の高まりを受け、5月発売のガスふろ給湯器の新商品「GT-C52シリーズ」と6月発売の石油給湯機の新商品「OTQ/OQB-CG4703シリーズ」を中心に、高効率ガス給湯器「エコジョーズ」、高効率石油給湯機「エコフィール」などの潜熱回収型給湯器が売上高を伸ばしました。

住設システム分野では、他分野の商品とのトータル提案や全国各地のショールームを活用したキャンペーンなどを展開いたしました。しかしながら、売上構成の変化などにより売上高は減少いたしました。

厨房分野では、最高級ビルトインコンロ「S-BLINK ADVANCE」をモデルチェンジし4月に発売いたしました。競争激化により売上高は微減となりました。

新エネルギー分野では、自社生産の太陽光発電システムが大幅に増加しており、ガスエンジンコージェネレーションシステム「エコウィルV」とともに売上高を伸ばしました。

#### ② 海外事業

当第2四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が87億59百万円（同1.1%増）、セグメント利益が1億45百万円（前年同期は55百万円のセグメント損失）となりました。中国では、引き続き政府の不動産価格抑制策の影響を受けておりますが、重点エリアや重点販売ルートへの取り組みを強化し、売上高は増加いたしました。米国では、景気回復の遅れや住宅着工の低迷などの影響を受けつつも、環境に優しいコンデンシング給湯器の販売が伸び、売上高は増加いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、1,490億81百万円（前連結会計年度末比17億55百万円減）となりました。流動資産は受取手形及び売掛金が減少したこと等により903億18百万円（同20億45百万円減）となりました。また、固定資産はソフトウェアが増加したこと等により587億63百万円（同2億89百万円増）となりました。

負債は支払手形及び買掛金が減少したこと等により609億33百万円（同42億81百万円減）となり、少数株主持分を含めた純資産につきましては881億48百万円（同25億26百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は59.1%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は273億73百万円と前連結会計年度末に比べ30億2百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得た資金は85億50百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益40億64百万円、減価償却費26億53百万円および売上債権の減少額62億14百万円等による資金の増加、仕入債務の減少額37億8百万円および法人税等の支払額17億91百万円等による資金の減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支出した資金は47億26百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入12億15百万円

等による資金の増加、定期預金の預入による支出20億円および有形固定資産の取得による支出32億11百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支出した資金は8億41百万円となりました。これは主に配当金の支払額7億65百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年2月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,766	23,553
受取手形及び売掛金	49,118	43,234
有価証券	7,177	6,871
たな卸資産	12,153	12,087
その他	5,357	4,727
貸倒引当金	△210	△156
流動資産合計	92,363	90,318
固定資産		
有形固定資産	29,872	30,116
無形固定資産	1,786	2,058
投資その他の資産		
投資有価証券	19,883	19,974
その他	7,268	6,950
貸倒引当金	△337	△337
投資その他の資産合計	26,814	26,588
固定資産合計	58,473	58,763
資産合計	150,837	149,081
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,158	29,621
短期借入金	2,233	2,190
未払法人税等	1,661	1,135
賞与引当金	1,698	1,310
役員賞与引当金	17	—
製品保証引当金	608	650
製品事故処理費用引当金	88	64
その他	12,045	12,080
流動負債合計	51,511	47,051
固定負債		
退職給付引当金	8,797	9,044
役員退職慰労引当金	37	42
製品保証引当金	407	356
その他	4,462	4,439
固定負債合計	13,704	13,882
負債合計	65,215	60,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	49,068	50,998
自己株式	△5,080	△5,081
株主資本合計	87,112	89,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△470	8
繰延ヘッジ損益	△29	—
為替換算調整勘定	△996	△906
その他の包括利益累計額合計	△1,496	△898
少数株主持分	5	5
純資産合計	85,621	88,148
負債純資産合計	150,837	149,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	88,855	89,316
売上原価	61,899	63,444
売上総利益	26,956	25,872
販売費及び一般管理費	22,867	22,175
営業利益	4,088	3,696
営業外収益		
受取利息	110	122
受取配当金	194	197
受取賃貸料	81	98
為替差益	—	24
その他	303	210
営業外収益合計	690	653
営業外費用		
支払利息	22	21
固定資産賃貸費用	72	57
為替差損	29	—
その他	124	146
営業外費用合計	249	226
経常利益	4,529	4,124
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21
特別利益合計	—	21
特別損失		
固定資産処分損	51	79
減損損失	129	—
災害による損失	210	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
その他	1	1
特別損失合計	634	81
税金等調整前四半期純利益	3,895	4,064
法人税、住民税及び事業税	1,603	1,272
法人税等調整額	△60	117
法人税等合計	1,542	1,390
少数株主損益調整前四半期純利益	2,352	2,674
少数株主損失(△)	△5	△0
四半期純利益	2,358	2,674



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,352	2,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	478
繰延ヘッジ損益	△25	29
為替換算調整勘定	24	89
その他の包括利益合計	△93	597
四半期包括利益	2,259	3,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,265	3,272
少数株主に係る四半期包括利益	△5	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,895	4,064
減価償却費	2,659	2,653
減損損失	129	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
売上債権の増減額(△は増加)	4,290	6,214
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,167	135
仕入債務の増減額(△は減少)	△114	△3,708
法人税等の支払額	△1,786	△1,791
その他	657	981
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>8,803</b>	<b>8,550</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△2,000
定期預金の払戻による収入	4	1,215
有価証券の取得による支出	△2,117	△2
有価証券の売却及び償還による収入	500	34
有形固定資産の取得による支出	△3,285	△3,211
その他	446	△762
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,452</b>	<b>△4,726</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△239	△47
配当金の支払額	△669	△765
その他	△77	△28
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△987</b>	<b>△841</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,368	3,002
現金及び現金同等物の期首残高	25,029	24,371
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,397	27,373

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,872	6,983	88,855	—	88,855
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,075	1,679	3,754	(3,754)	—
計	83,947	8,662	92,610	(3,754)	88,855
セグメント利益又はセグメント損失(△)	4,144	△55	4,088	—	4,088

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,258	7,058	89,316	—	89,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,882	1,701	3,584	(3,584)	—
計	84,140	8,759	92,900	(3,584)	89,316
セグメント利益	3,551	145	3,696	—	3,696

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。